

小田原

広

報

まちづくり情報誌



笑顔がとまらない

こころ元気、からだ元気。



こころ元気、 からだ元気。

2000年を迎え、いよいよ21世紀への扉が開きます。

これからの私たちに求められていくものは何でしょうか。課題は時代ごとに変わっていきます。しかし、いつの時にも大切にしなければならないものがあります。それは、健康。健康は活力のみなもとです。次の時代を迎えるにあたって、わたしたちは、もう一度この原点に立ち返ってみることが大事なのです。

介護保険に なる前に

年がどんどん若くなる

健康おだわら普及員

川本雪江さん(橘北地区)

「毎日、忙しいですね。やることがいっぱいあって、のんびりなんかしてられませんよ」普及員の会長を務める川本さんは、元気いっぱい。普及員の活動のほか、毎日の農作業と1万歩の散歩(犬の散歩をかねる)、そしてカラオケは欠かさない。

健康おだわら普及員とは、市民の一人ひとりが積極的に健康を考えられるようにお手伝いをする地域の代表。各地域ごとに、体操教室や指圧教室、講演会など工夫をこらしたイベントを行っている。

川本さんの橘北地区では、毎年、下中学校のバザーの時に、減塩みそ汁の試飲会を行っている。「最近食生活が偏っているでしょ。スナック菓子やインスタント食品が主流。塩分が多く、油をたくさん使っているんで体にいいとは思えません。昔は「おふくろの味」と言ったけど、今は「ふくろ(袋)の味」になってしまったんですよ(笑)」

それにも増して、食事そのものの味付けが濃い家庭が非常に多いそう。だからこそ減塩みそ汁の試飲会は大事であるとのこと。みそ汁自体は体に良くても、塩分を取りすぎでは意味がないのである。



「毎日飲む物だから、体にとっても良い減塩みそ汁を飲みたいですね」と川本さん

健康おだわら普及員は現在80人。最近では、各地域の普及員活動への参加者もどんどん増え、一つの世代間交流の場にもなっている。

普及員の活動は、決して押しつけではない。参加者が、自分の健康のために何かしてくれたりそれでいいと考えている。それが犬の散歩であつても、カラオケでも何でもいいたいのだ。特別なことを求めているのではない。

「いい空気を吸って、太陽の下で働ける。本当に素晴らしいことじゃないですか。健康を大切に、楽しく年をとりましょう」すでに普及員歴10年を超える川本さんが、その活動は、ますます熱を帯びてきそう。

小田原市の65歳以上の人口は30,565人と、人口の15パーセントを占めている。(平成11年4月1日現在)。その割合は年々増加傾向にあり、2025年には日本の高齢者割合がピークを迎える。県平均でも12.7パーセント(平成11年1月1日現在)と、いよいよ超高齢社会に入った。4月からは介護保険制度がスタートし、市でもその準備が急ピッチで進められている。しかし、介護保険があればすべて大丈夫なのだろうか？

介護への防波堤

健康づくりの3原則は、「栄養・休養・運動」川本さんの話にもあったように、最近各地域でさまざまな取り組みが行われている。保健センターでも、日ごろの健康や生活習慣病などについて保健婦や栄養士が相談に応じる「すこやか健康相談」、糖尿病や高脂血症、高血圧などのテーマにそって講師が教えてくれる「健康づくり教室」など充実したサービスが行われている。

今の時代に必要なのは「介護を受けないですむ老後」すなわち「楽しく年をとるための備え」ではないだろうか。私たち一人ひとりが「自分の健康は自分を守るのだ」ということに、早く目覚めることが大切なのである。



どうして起こる、 子供の虐待

最近よく耳にする、虐待という言葉。毎日のように流れるニュースは、目を覆いたくなるものばかり。では、なぜこのような虐待が起きてしまうのか。どこに問題があるのだろうか。

一人で悩まないで

小田原児童相談所
指導課長 国本翠さん

「私は虐待をしていますとは、なかなか言えないものですよ」

虐待というと、コインロッカーに入れたり、お湯をかけられたり、と悲惨なものばかりを想像しがち。しかし、実際には形にあらわれないものも非常に多い。例えば、家に閉じこめて学校に行かせなかったり、病气やけがをしても病院に行かせないなどもまた虐待の一つ。必要以上の非難や無視、差別などもまた虐待なのだ。しかし、これらのほとんどは、当事者が虐待をしているということには気づいていない。

「最近の親は自分が一番で、子育てが二番以降になっていて自己中心的、と言われることが多い。笑っている子供に『うるさいから笑うな』としかる親、上げ底くつを履いて、危険を考えずに赤ちゃんを抱きかかえる母親など。時代は変わっています。しかし、この人たちを悪い親だ、と非難しているだけでは、この問題は解決しません」



家庭訪問でよく話してみると、子供をたたいた親の方が傷ついてしまっていることがある。

「親も悩んでいるんですよ。どんな人も虐待をしてしまう可能性はある。親自身が子供のときに傷ついていることもあるんです。親を責め、処罰することでは根本的な解決策にはなりません。親が安心して子育てできる環境を皆で作ることが大事なのです。そして、少しでも困った時は一人で悩まず、相談して欲しいと思います」

国本さんは、最近虐待がよく話題になることを悲しく思いながらも世の中に子供を守ろうという動きが出てきたからこそ、この話題が表面に出るようになったのだ、と前向きに受け止めようとしている。

まずは、早期発見

子供の虐待の原因は、経済的な問題から社会的孤立、夫婦関係や子育てノイローゼまでさまざま。子供にはまったく無関係なことから起こってしまう場合も少なくない。そして、親たちは周りから非難されることを恐れて援助を求められずにいる。

虐待から子供を救うために最も重要なのは身近な人への理解と早期発見。時には生命にかかわることもある。まずは、周りにいる子供からのサインを見逃さないことが大切だ。

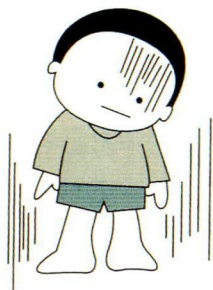
ちょっと気になる子供を発見した時は、すぐに相談を。
児童相談所 ☎23-0388



衣類や体が汚れていて、親の手をかけられていない



ひどく乱暴であったり、盗みや嘘が多い



表情が乏しく、活気がない

急がれるネットワークづくり

虐待をなくすためには、個人だけで努力するのではなく、学校や医者、民生委員・児童委員、そして福祉関係機関などがネットワークを組み、それぞれの立場で発見と援助を進めなければ、なかなか難しい。厚生省では、平成12年度予算の概算要求に、児童虐待防止市町村ネットワーク事業の実施に向けた内容を盛り込んだ。子供たち、そして親を守るため、地域の人みなで力を合わせていくことが求められているのである。



子育ては楽し！ 中学生の子育て体験！

毎年、保健婦と保育士が中心になって行っている子育て・保育体験学習。小田原市総合計画レインボープロジェクト「はつらつエンゼル・愛の環プロジェクト」の一つであるこの事業は、中学生が本物の赤ちゃんをだっこしたり、おむつ交換を体験するもの。普段、小さい子供とふれあう機会の少ない中学生のパパママぶりを、ちょっと拝見してみよう。

今年の参加は、城南中学と国府津中学の3年生。まずは、国学院大学の宮崎豊先生の講演。生命の誕生や胎児の成長の話に熱心に耳を傾けると、次はいよいよ妊婦体験。エプロンの前ポケットにペットボトルの重りを入れての妊婦体験では、参加者から「こんなに重いのか」とか「ふー」というため息が漏れた。

その後、いよいよ本物の赤ちゃんにご対面。最初は緊張しながら壊れ物をさわるように赤ちゃんを抱いていたが、次第になれてくると、ミルクをあげて寝かしつけに成功する中学生もいた。どの顔も笑顔、笑顔だった。

この事業のいいところは、赤ちゃんを通じて、母親との交流もできるところ。2日目は保育園での保育体験。乳児から年長児と一緒に遊んだ中学生は、とっても楽しそうだった。帰りには、中学生も園児も、最後まで別れを惜しんでいた。



～参加中学生の手紙～

はじめは、どうなるかと思っていたけれど、赤ちゃんを抱いたりしていたら、かわいいな、私も子育てしてみたいな、と思いました。

表情がコロコロ変わって、今の私になり素直さがあるなあと思いました。

体験学習に参加して、命の大切さや、私もしっかりと育てられたんだ、という感謝の気持ちになりました。

見ているだけで楽しい。飽きない。1日目は怖くてさわれなかった。でも2日目は子供から来てくれた。保母さんを甘く見てた。いつもににご笑っていてすごい。大変で疲れたけど、その分笑顔がうれしくて、本当の親になったみたいだった。

～参加中学生の手紙～

「もう、帰っちゃうの?」と言われたときは、本当に帰りたくななくなっちゃいました。

私は小さいころ、しょっちゅう風邪をひいたりぜんそくで親に大変な思いをさせました。赤ちゃんのお母さんの一人に、私のお母さんと同じ思いの人がいました。話を聞いて、お母さんはすごいな、と思いました。私の母も大きく見えました。

子供はうるさいだけかと思っていたら、意外に言うことを聞いてくれてたすかりました。

すぐ、なついてくれた赤ちゃんや子供たちありがとう。わたしもぜったい赤ちゃんを産みたい!

赤ちゃんたちの おかあさんからの手紙

赤ちゃんにさわったことがないという
中学生も多かったようですが、この日
に赤ちゃんのやわらかさ、かわいさ、
命の大切さなどを感じてもらえたので
はないでしょうか。私自身も、中学生
に接し、15年後には、我が子もこん
なに大きくなるんだなあ、なんて思っ
ていい体験になりました。

子育てはとっても大変ですが、感動も
たくさんあります。素敵なパ
パ・ママになってください。

急増する育児相談

保健センターでは、安心して子育て
ができるように、保健婦や保育士、栄
養士などが定例育児相談を行っていま
す。その相談件数は、平成9年度の313
件に対して、10年度が726件、11年度は1
038件（見込み）と、毎年急増しています。
核家族化、少子化の進む現在、多くの親
たちは、不安を抱えながら育児をしていま
す。現在の親たちと、将来親となる子供た
ち。皆が一緒になって子育てを考える機会

が、これから多く求められて
いくでしょう。
保健センター
☎470820



小田原にキャンパスを持つ
関東学院大学が、予選
会を勝ち抜いて、み
ごと本戦出場を
果たしました。
初日4区のランナ
ーとして、平塚から小田原
までの区間を走り抜いた武生健治さんは、完走後
「沿道の応援があまりにすごくて感激しました。次
のランナーの弟（武生さんの双子の弟に、たすきを
渡しながら最後の力をふりしぼって『がんばれ！』
と声をかけました」と話してくれました。
総合順位は13位でしたが、今年優勝の駒沢大学
も初参加から34度目の挑戦での初栄冠でした。
21世紀に向けて、がんばれ関東学院大！



関東学院大学、箱根駅伝に参上！

プラザを 利用しよう

「地域に開かれた学校」を目指し、小学校の余裕教室の活用を進めています。児童・生徒の地域で利用しよう。

☎教育総務課 ☎33-1673

利用日時 9:00～21:00

使用料 なし

手続きは簡単 今すぐ申し込もう！

市民が自由に利用できます。

10人以上で利用団体登録しよう。

登録が済むと「プラザ利用団体登録証」とプラザの鍵をお渡しします。あとは、各プラザに備え付けの利用割当表に利用希望日・時間を書くだけ。
※宗教活動や営利を目的とした団体などは利用できません。

※利用可能人数は、それぞれ40人です。

「プラザ」は、次の5小学校

◇足柄小プラザ 扇町3-21-7

◇桜井小プラザ 曾比1943

◇曾我小プラザ 曾我大沢69

◇前羽小プラザ 前川858

◇酒匂小プラザ 酒匂5-15-3

かながわの景勝50選・まつり50選 曾我梅林開園30周年

小田原梅まつり

どこへ行っても白い匂い。どこへ行っても梅の中です。
麗峰富士をバックに、この歴史ある梅林を歩けば気分は最高。
梅まつりには、毎年80万人が訪れます。

2月1日火～29日火

曾我の梅林・小田原城址公園

詳しくは「広報おだわらいふ1月15日号」をご覧ください。

小田原に梅が植えられたのは文化・文政時代で、寒中に咲く強さと、高貴な香りが当時の武士の気風に合い、城下の侍屋敷に植栽させたのがはじまりといわれています。また、梅花の観賞と梅は戦時における兵糧用とするために藩主の奨励



によって城の外郭や寺院をはじめ畑周辺などに植栽がされました。

さらに、小田原地方が塩の供給が豊富なことと、箱根八里の山越えの旅人が多くなり、小田原宿が発達してから梅干しが弁当を腐敗させない副食物として必需品となり小田原の梅干しが名声を博したのです。

辻村植物公園の梅林

公園一面を漂う560本の梅の香りに、おもいっきり深呼吸。

枝先からこぼれる相模湾や小田原市街地の眺めに、おもわずため息。

春を満喫するおすすめのスポットです。

市長随想

歴史の踊り場

文 小澤良明

私は平成十二年を『歴史の踊り場』と位置づけます。

西暦二〇〇〇年、千載一遇と言いますが、まさに私達はこの時に生を得ております。

昭和十五年に小田原町と足柄町、大窪村、早川村、酒匂村の一部である山王・網一色が大合併して市制施行以来六十周年。

また、明治以来連綿と続いた我が国の統治制度、中央集権体制が終りを告げ、この四月から国と地方自治体は上下、主従の関係から、一応、対等、協調関係となります。地方自治一筋の私にとって画期的な転換期です。社会システムの一大改革となる介護保険制度もいよいよ実施されます。県下三十七市町村の中でも、施設等の基盤整備、ヘルパーさん等の人材、市役所やボランティア等関係者の準備体制等々どれをとっても相対的に見て県内トップクラスの水準にあると自負しています。第三の変革期の真つ只中、戦後最長と言われる不況もようやく底を打つ気配で、いわば景気の変曲点とも思われるのも今年、平成十二年。

不安も期待もないままになつて新しい年を迎えました。まさにいろいろな意味を込めて私達は、小田原市は、日本は、今『歴史の踊り場』に立っています。それだけに私は一段一段踏みしめてきた過去を厳しく検証し、目前にそびえる未来への階段に

REPORT

地下10mの世界へいざ！

マンホールの蓋が開いてすぐ中をのぞいたら「待った」の声。酸素と硫化水素の濃度を測定してからでないと入れないのだ。ポンと汚水の臭いがする。係りの職員が明かりを照らしながら下り、続いて心配そうな顔に見送られてコの字型の足がかりを三点確保の要領で垂直に降りていく。およそ10m

下りた所に半円形の中継点があり、さらに下ると直径4mの本管をかなりの量の水が音をたてて流れていた。予想したほど臭いがひどくないのがあるがた。外の寒さに比べ、中はモワッとした空気が漂っていた。半世紀とちよつとの人生の中で未知の世界で貴重な体験をした。まさに地上にいる私たちにとって

下水道工事は直接地面の上から掘れなかつたり深い所で行う場合は、ガスや上水道などをよけたり一時移設しなければならないので多額の費用がかかる。

小田原市では昭和41年度から、投入した工事費の一部を受益者（下水道ができることによって利益を受ける地域の人）が負担する制度を実施している。受益者負担金は処理区域（公共下水道に接続できる区域）内のすべての土地を対象とし、1㎡あたり280円を納める。例えば50坪（1坪33㎡）の土地を所有している場合165,280円（280円×50坪）となる（10円未満は切り捨て）。納入は完成後の3年間に12回分割で支払う。一括納入の場合は、3年分で8%、2年6%、1年2%の報奨金が交付され、減額がされる。



マンホールの中をのぞく。垂直にコの字型の鉄の足場が約50cm間隔で奥まで続くが、薄暗く下まで見えない。両足で踏んばり、腕の力で降りていくのかと思うと緊張感が走った。



広報レポーター
信濃幸江さん

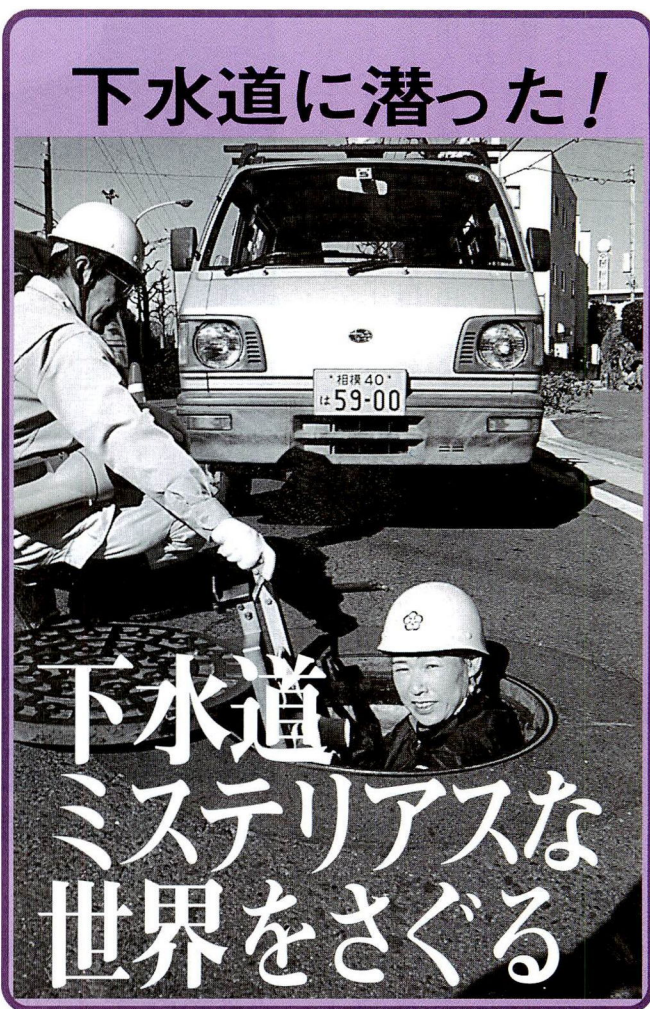
次世代へきれいな水を残すために

宅地内に公共ますを設置する工事は市で行うが、トイレ・台所・風呂などの汚水をますに流し込むまでの排水設備工事費用は各家庭で負担する。水酸化工事費補助金などの助成制度が設けられているので、ぜひ利用するとよい。

補助金は1年以内の接続工事で3万円、2年で2万円、3年で1万円が支給される。下水道使用料は維持管理費に使われる。

小田原の下水道の水洗化接続率は83%。10軒中2軒弱の家が接続していないことになる。「上水道料は納めるが、捨て水にお金を払うのはどうも」と考えがちだが、尊い税金で施された下水道を有効に利用して、水の汚染はもとより悪臭や蚊などの発生をなくし快適な生活を営むためにも接続率が100%に近づくことが大切なのだ。

近くの河川にメダカ・ホタル・カルガモ達が住むきれいなまち小田原を次の世代に伝えていくために、公共下水道への接続に協力しよう。



第1回オーシャンクルーズ（平成6年）にて。当時小学校6年生の子供たちも今年18歳を迎える。



想いをこらします。歴史の長い階段の踊り場に立つて、今を生きる人々への市政とは、五年先、百年先のまちやひとへ贈り伝えなければならぬものは、とじつくり腰を据えて考え、行動します。

青少年の健全育成に大きく貢献している「少年少女オーシャンクルーズ」、市民参加、分権時代の幕開けに存在感を増すであろう自治体版シンクタンク「仮政策総合研究所」の開設、県西部雄都の拠点施設として着手する「小田原駅東西自由連絡通路」、いよいよ動き出す市民待望の「（仮）城下町ホール」計画……。

市民の皆さんや市職員と共に知恵と汗と情熱を注いで種を蒔き、苗を育てて苦勞を重ねてきたそれ々が、今大きく実ろうとしていることに充実感を覚えます。

これから上るべき階段もまだまだ高く辛いことでしょう。しかし何ほどのことがある。私には「市民の皆さん」という共に足並みを揃えて上る多勢の仲間がいるのだから。

まいたうん レポート

「人と出会い、そして食べることで、作ることで好きなので長続きしているんです」と萩野さん。小田原市内や近郊に住む外国人を講師に、世界各国の料理を作り、味わうこの教室は年間3〜6回、主に日曜日の午後1時から開かれる。平成3年にはじまり、今までにアジア・アメリカ・ヨーロッパをはじめ世界23か国のバラエティーに富んだ料理が34回も食卓を彩った。



すてきな人 みつけた

食への興味が最高の食材
スタッフの皆さんの
チームワークでがんばっています。

世界の家庭料理実行委員会
会長 萩野章子さん

「当時私は、英会話を勉強していました。当初はJC(青年会議所)によって開かれたこの料理教室に参加しました。最初のころは、指導もレシピもすべて英語。もちろん通訳がいましたけど(笑)。今は日本語の上手な外国の方も多くなりましたね。料理を通して人と文化にふれあうなんて素敵じゃないですか。異文化体験が楽しくて何回か参加しているうちにや



イタリア料理。アンチョビのパスタ、ウェディングスープの教室。

みつкиになってスタッフになったんです」と。今や毎回20〜30人が参加するこの教室の押しも押されぬ大黒柱である。主催者として苦労も多い。

「失敗も色々ありました。その結果、やっぱりリハーサルが必要と言うことに」なるほど、講師の話すことがすべて理解できるとは限らないし、材料・調味料・道具などすべてそろうとは限らない。そこで萩野さんは他のスタッフと

※2月6日(日)マロエで行う地球市民フエスタで「ロシアのケーキでティータイム」を開く。

「この教室がきっかけで、それまであまり知らなかった国にも興味を持つようになりまし。今や行きたい国がいっぱいあり過ぎて」と萩野さん。いつまでも世界から小田原に夢を運んでもらいたい。

もに、講師との打ち合わせ・リハーサル・材料買い込み・タイムスケジュールなど入念に準備する。分からないときは大使館から資料をもらって調べ、小田原で手に入らない材料は横浜中華街やアメ横にも買いに行くという。

参加者からの会費は材料費・講師へのお礼・調査費・情報提供などに充てる。参加者への案内まですべて手弁当。頭が下がる。

ほら こんなにやさしい おだわらのみち

何気なく歩いている歩道。
当たり前のように通り過ぎている交差点。
実は交通安全の願いから、市では人にやさしい道づくりをしているのです。

道路補修課 ☎33-1648

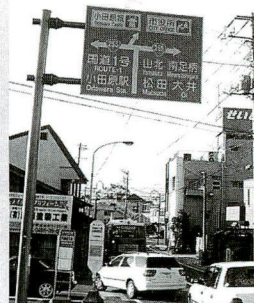
▲セーフティロード

横断歩道部や歩道巻き込み部では車道と歩道の段差が高齢者や身体障害者などのハンディキャップを持つ人には、大変な障害となっています。平成6年度より「人にやさしく活力ある福祉の生活空間づくり」を目的として、官公庁舎やデパートなど、公共施設周辺道路から年次計画を立て、この段差をなくし、点字ブロックを市内287箇所を設置済みです。

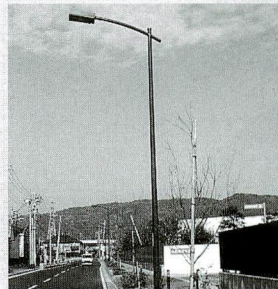
道路標識

道路標識設置基準により利用者に目的地の方向、距離などを示す大型案内板や交差点・踏切り・車線・幅員減少などの警戒・注意を促す警戒標識を設置しています。

なお、止まれや横断歩道標識など、道路交通法によるものについては、都道府県公安委員会が設置しております。



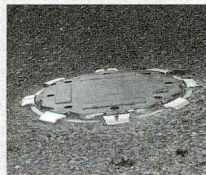
道路照明灯



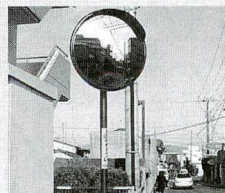
主要幹線市道・暗くて信号機のない交差点または横断歩道付近・急カーブなど夜間に特に危険な場所や道路の幅員などが急に変わる場所にあります。道路照明施設設置基準により、年次計画を立て設置しています。

交差点鎮

信号機のない十字路やT字路・見通しの悪い交差点での事故を減らすため、警察と調整し設置しています。特に夜間や雨天など悪天候においては、自動的に点滅する赤色(発光ダイオード)などの光で事前に交差点を知ることができます。これにより運転者が注意し、減速走行する効果があるので、事故が減少しています。



カーブミラー



交通量が多く信号機のない交差点やカーブなどのある公道に車両交通の安全確認のため設置しています。

2月は省エネルギー月間 家庭でできる 冬の省エネルギー

冬のエネルギー需要は年々増加し、夏と並んで、エネルギー消費の最も多い時期です。皆さんも省資源・省エネルギーにご協力ください。

環境保全課 ☎33-1481

●部屋は適温ですか？

厚手のカーテンや、カーペットを使い、冬の暖房温度を1度下げることにより、全国では約43万世帯分の年間エネルギー使用量の節約になります。



●部屋の照明は、こまめに消そう

家庭で使う電気の約16%は照明用です。蛍光灯の点滅回数はランプの寿命にほとんど影響がないのでこまめに切ったほうが経済的です。



●シャワーを流しっ放しにいませんか？



全国でシャワーのお湯を1分間流しっ放しにすると1年に東京ドーム約200杯分のお風呂が沸かせるほどの石油がむだになります。

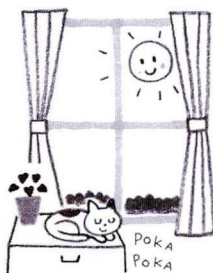
●エコロジードライブに努めよう

1日5分ほどのむだなアイドリングをやめると、1年間で約2800円の節約になります。急発進、急加速もガソリンのむだになります。



●太陽の恵みを利用

天気の良い日には、カーテンを開け太陽熱を取り入れると暖房効果があります。また、ソーラー発電システムや太陽熱温水器を利用するなどして、エネルギーの節約に努めましょう。



「何か起きたとき救命技術で貴重な命を救おう」を合言葉に、小田原市役所で昨年10月から心臓マッサージなどの技術を習得する普通救命講習会が開かれました。講習では心臓・呼吸が止まっている設定という本番さながらの緊張感の中、「普段出したこともないような大きな声での状況確認



いざ

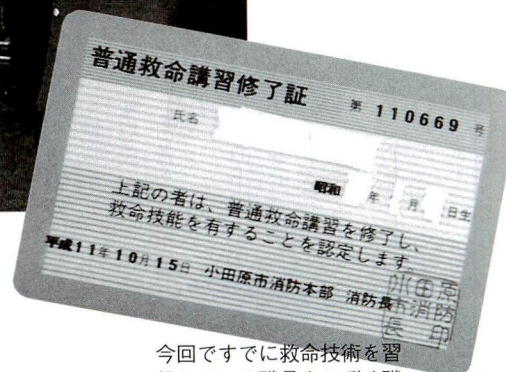
全職員 技術を取得
という時のために！

認や人工呼吸・心臓マッサージなど盛りだくさんでした」「講習を受け市職員としての責任をさらに感じます」「いざという時、この救命技術で家族や大切な人を救うことができたらうれしい」「この講習を受けずに、万が一の時、自分がおろおろして何もできなかったら、一生後悔するでしょう」と感想もさまざまでした。

職員が日々の忙しい仕事をやりくりして参加したこの講習会。全職員が救命技術を持つことによって職員の気持ちが一とつになったことは、大きな成果といえます。



防災とボランティアの日である1月17日をもって職員全員の受講が完了し、職員の代表に修了証が渡されました。参加した市民の方100人にも修了証が送られました。これで、6年間で市民2652人が修了しました。



今回ですでに救命技術を習得している職員をのぞく職員1437人が取得した。

お知らせ

●希望に応じ、普通救命講習会を開きます。

3時間、1組10～20人 受講料は、無料です。

消防本部警防課 ☎49-4422



小田原水の復元

「小田原水」って知ってますか！

今なぜ小田原水の復元なんだろう？

小田原水の創設時期は明らかではありませんが、古い文献を開いてみると500年以上も昔、北条氏の時代にさかのぼるのではないかと考えられます。

板橋で取水された早川の水は、東海道の沿道の各町に分水し、古くは人々に飲料水として利用され、城下を潤していました。小田原水から各戸に水を引くためには、木管といわれる木製の水道管が用いられ、その水を炭や砂でろ過して使っていたようです。

このようなことから、小田原水はわが国で最初の公共用水道だったのではないかと言われています。

しかし、明治時代まで防火用水や雑用水として一般に利用されてきたこの小田原水も、近代水道施設の整備とともにその役割を終え、現在では板橋地区を除いてはそのほとんどが埋設されて、暗渠となり、人々の生活からは遠い存在となっていました。

私たちのまち小田原は古くから都市として発展し、歴史、文化、自然など多くの貴重な財産を先祖から受け継いできました。

しかし、震災などにより城下町の面影は破壊され、また、他の日本の都市と同様、近代化を進める中で、まちは少しずつその個性や魅力を失ってしまいました。

そして今、時代は大きな転換期を迎え、心に豊かさを感じることでできる個性あるまちづくりが求められるようになってきました。

市では小田原のもつ歴史や文化などの資産に磨きをかけるとともに、まちに潤いや安らぎを取り戻し、誇りと愛着のもてるまちを育

てることが重要な課題であると考えています。

また、昨今問題となっている中心市街地の活力の低下に対し、「訪れたい」「歩いてみたい」と思うようなまちをつくり、人々の回遊性を高め、まちの活性化に結び付けていきたいと考えています。

そこで、小田原水をせせらぎとしてよみがえらせるとともに、歩車道の整備や緑化、電線類の地中化、さらには沿道の建物の景観誘導などを同時に行うことにより、美しく魅力的なまちをつくり、地域や商店街の活性化に役立てられないかと考えました。

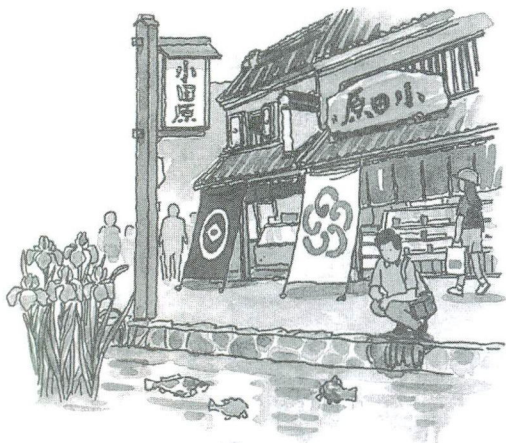
未来への贈り物

市では旧東海道の小田原宿の中心として古い歴史を持ち、埋設されながらも今も小田原水が流れる宮之前・高梨町で、住民の皆さんとともに約180mにおよぶせせらぎの整備について検討しています。

水道としての役割を終えた小田原水をせせらぎという新たな形で整備することは、先人たちのまちづくりの努力を現代に受け

継ぎ、さらには、未来へ引き継いでいく意味からも大変意義のあることと考えています。

21世紀の小田原のまちをせせらぎが潤す姿を思い描き、皆さんにもぜひ応援していただきたいと思います。



小田原 彩時記

威勢良く 初市

県西約50万人の台所ともいえる二つの市場。1月5日、今年も元気に初市式が行われた。

水産市場

当日の海水温は17度。例年より3度も高く、出荷量としてはいいまいち。それでも、早朝の澄んだ空気の中、新年のあいさつと初市の喜びに満ちあふれる魚市場。式では、今年の大漁を祈念して鏡開きと手締めが行われた。お清めの後に、威勢のよいセリの声が響き、ブリ・アジなどの魚が飛びように取り引きされた。



青果市場

ゆず・まいたけ・ごぼう・かぶ・白菜などなど新鮮な野菜と段ボール箱の山。それらを飾る「祝 初荷」の紅白の昇り旗が勇ましい。

「この厳しい時代、みんなの元気で景気回復をお祈りしよう」と万歳三唱。

ジリジリジリとベルが場内に響きわたり、各自持ち場に帰って、威勢良く市がスタートした。



小田原空襲と その遺産

武田敏治さん(栄町)

地方都市への空襲も激しくなり、小田原も危ないと言われ出したのは昭和20年、私が国民学校5年生(11歳)の夏休みに入るころだった。身重の母と4人の弟妹は、足が不自由だった伯母と父の実家(久野坊所)の竹藪のかたすみにバラックを建て疎開していた。栄町の家は当時徴用で立川飛行機小田原工場(現城東高校敷地内)で働いていた父と私だけが住んでいた。

終戦の日、8月15日の未明のことだった。警戒警報のサイレンで目を覚まし、身支度を整え脚絆を巻きながら、父と何やら話し合っていると、突如B29が低空からゴーと振動を響かせ通り過ぎていった。「あっ」と暗闇の空を見上げた時、一瞬、あたりが明るくなり、家の前から浜町・本町にかけて焼夷弾が焰を吹きながら雨のように降ってきた。

父は燃え盛る隣家の消火に向かい、私は道端の焰を吹く弾(筒)に防火用水から水を汲み出し夢中でかけていた。

その時、カーン、カーンと耳を裂くものすごい金属音がした。それは、焼夷弾を束ねた金属板が弾のあとから落ちてきて、道路に跳ね返る音だった。

目の前に突き刺さるように落ちたのは、車輪とも見える焼夷弾の蓋である。直撃を受けたら即死、慌てて我が家に飛び込み命びろいをした。

外を見回すと町内は、軒並み炎に包まれていた。

「隣のおばさんたちと逃げろ」の父の声で、当時農村地帯だった町田方面(現寿町)へ一目散に駆け抜けていった。

山王川の汐留橋を渡り、辿り着いた農家の縁側で一睡もせず、空を焦がす真っ赤な炎を眺めながら夜の明けるのを待っていた。

思い出の金属板と武田さん。金属棒で束ねた36発の焼夷弾は空中で分解され、覆っていた金属板は空気の抵抗を受けながら落下、曲がっている歯型の一部は地面にぶつかった衝撃の痕(あと)である。



宮の前通り(現在の町3丁目)の当時の戦災の様子

朝、戻ってみると、我が家は無事だったが海岸に向かう商店街の燻りのなか残っていたのは、安田貯蓄銀行(現さくらい呉服店)ただひとつだけだった。

そして、昼に玉音放送、裏庭で近所に人達が集まり憔悴しきった表情で聴いていた。大きな樺のセミの鳴き声が、音声の悪い玉音放送を一層聴き取り難くしていた。

「戦争は終わったよ」と父は呟いた。

敗れた悔しさと、ほっとした安堵感が交錯して複雑な気持ちだった。毎日、敵機におびえていても、日本は絶対に負けないと信じていた私には、敗れたことが本当なのか、よく分からなかった。もう一日早く戦争が終わっていたらと言いながら、肩を落として焼け跡の片づけに足を運んだ父の姿が目につく。

陽が沈むころ、厚木航空隊の戦闘機が、兵士の顔がはっきり見える低空飛行で徹底抗戦のビラを撒いていった。

しかし、その夜から毎晩おびえていたサイレンも鳴らず「ああ、本当に戦争は終わったのだな」という実感が湧いてきた。不気味なくらい静まりかえったその夜、ふと軒下を見ると危うく直撃を受けるところだった焼夷弾の金属板が転がっていた。子供心にアメリカ軍の分捕り品のような心地がして、そっと家の押入れの奥にしまっておいた。戦後、そのようなものは回収の御触れがまわったようだが、半世紀の間、あの時の悪夢を忘れたかのように眠っていた。

恐怖の一瞬も時とともに薄れてきたが、日本最後の空襲の貴重な遺産として、この爆撃で亡くなられた犠牲者の冥福を祈りながら後世に残していきたいと思う。



くら田たまえのお人形
とき1月28日(金)~2月13日(日)
ところ うつわ・菜の花

立春大吉展

くら田たまえさんのお人形は、ただかわいいだけでなく人間の色々な顔、悲しかったり、鬼になったり、どきっとさせるようなところを持ちながら、だけどおおらかで遊んで、楽しくさせます。福と鬼がなかよくいっしょに春をまねく、吉をまねく、節分立春大吉展です。

うつわ・菜の花 高橋台一

うつわ・菜の花 ☎24-7020 OPEN 11:00AM~6:00PM 水曜定休



①野生の生き物の危機
生き物が1日1種消えていく

地球上に生き物が誕生してから、およそ35億年になります。この間多くの生き物が生まれ、そして絶滅しています。生き物は多様な仲間がお互いにかかわりながらその中で生きて行くことができるのです。20世紀になり人の生活の多様化で、野生の生き物の生育地が狭まり、生育しにくい環境に変わっています。そのため、地球上の多くの生き物が消え去り、絶滅の危機に瀕しています。このテンポ

守り続けたい自然の生き物たち
小田原のメダカ・ホタル・コアジサシを求めて

小田原でも普通に見られた生き物が少なくなり姿を消しそうです。水田、小川で群泳の見られるメダカ、夏夜の光の風物詩ホタル、市の鳥として親しまれるコアジサシなどが一例です。身近な小田原の「自然の生き物」の生き方を知り、守り育てたいものです。

日本自然保護協会 自然観察指導員 常盤 博城山

1種絶滅のサイクル

恐竜時代	約10000年に16000
19000年前半	約4年
19000年ごろ	約1年
1975年ごろ	約9時間
1975～2000年	約13分

地球上の生き物は少なくみて500万種、多く見て3000万種といわれています。現在1年間で4万種が、地球上から消え去るといって驚くべき数になります。この絶滅劇が豊かな生活を追い求める人為の業であることへの反省が大切です。

②レッドデータ種
[Red Data Species] 入は

「野生の生き物の中で、既に絶滅した種類や絶滅の危機にある種類」ということで「赤信号」の表現です。現在、環境庁をはじめ各種団体が絶滅した種類や絶滅危惧のある野生種を選定、その生育状態の調査を行っています。日本の「レッドデータ種」は植物では、シダ植物以上の維管束(栄養分を輸送する管)を持つ仲間、およそ900種です。動物では昆虫・脊椎動物の仲間でおおよそ700種が、保護上重要な野生生物として選定されています。また、県内の状況は県内版「レッド・データ生物調査・1995年(県立生命の星・地球博物館)がその詳細を報告しています。

③追われる貴重な生き物たち
「メダカ」
稲作と共存してきた生き物

小田原は、童謡「メダカの学校」の発祥の地です。「小田原メダカ」は市民に身近な淡水魚のひとつでした。最近、市内でも自然での生

「駅前から穴場、路地裏まで名所」

小田原情報 大募集!

問 広報広聴室 ☎ 33-1261

プレゼントあり

みなさまからの貴重な情報をお待ちしています。
この「駅前から穴場、路地裏まで名所」情報は、小田原の魅力を発掘し、広く地域を発信するものです。
おもしろいネタ、がんばっている人、貴重な話題、伝説の秘話、地域の名所、町内の有名人、など小田原にまつわるあなたのとおききの情報をお寄せください。抽選でテレホンカードプレゼント。
受付(「小田原情報」とお書きください)
〒250-8555 小田原市役所広報広聴室 ☎ 32-4640
E-Mail odawara@city.odawara.kanagawa.jp

こんなネタください

- 歴史・文化・伝統・物産・人・場所など
- ★変わった名前(方言・伝承などで)の食べ物・生き物などがある
- ★ガイドブックに載らない、地元で人気の穴場の飲食店がある
- ★人気の飲食店だが、客もあまり知られない隠れメニューがある
- ★とにかくおもしろい、変わった人がいる・観光・グルメには関係ないが、小田原の自慢・名物はこれ
- ★珍しいことをやっている、あるいは一芸に秀でた人がいる

今年のバレンタインはこれで決まり!

地域限定 うめぼえむ!

発売以来、人気沸騰の小田原梅わいん入りチョコレート「うめぼえむ」。
甘めの梅わいんをビターなチョコで包んだちょっと大人の味。おしゃれな箱にボトル型のチョコレートが10本入ってお手ごろ価格の600円。小田原の特産品としておみやげにも最適。

問 小田原酒販協同組合 ☎ 24-2271



DUSKIN 小さな子供がいてもOK! 在宅パート募集

●サーヴハーティ《業務委託》

ダスキン商品の交換・お届けをするお仕事です!!

★週1日からOK

★2時間程度

●月収見込 1万円～(売上により異なります)

●サーヴ50《業務委託》

ミゼットに乗って商品の交換・お届けをするお仕事です!!

★週3日

★出勤は週に1回

●月収見込 5万円～(売上により異なります)

ダスキン早川支店 小田原市板橋 286 ☎ (23) 4100

—— お電話を頂ければ説明にお伺い致します ——

担当/安藤

配布員さん募集中

いかがですか、あなたも「まちづくりは、ひとづくり小田原」の地域配布員として、活動してみませんか

〈お 仕 事〉ご自宅近辺での市刊行物等の配布
〈勤 務〉月1～2回で3日間位 出社不要です
〈配布地域〉小田原市全域

詳しくは、説明会にて

お問い合わせ

株式会社 ダイコク

フリーダイヤル 0120-80-3912

説明会場

小田原市民会館 6F第6会議室

2月13日(日曜日)

9:00AM 1回目 説明会

13:00PM 2回目 説明会

15:00PM 3回目 説明会

上記、いずれか連絡の上ご参加ください



小田原メダカ

全国的に生息域や個体数の減少は見られますが、幸い「レッドデータ種」からは免れています。

日本のホタルはおよそ40種、発光するホタルは少なくとも10種くらいです。このうち市内で見られるのは、ゲンジボタル(体長14mm・♀17mm)、ヘイケボタル(♀10mm・♀12mm)が主で、西部丘陵など湿った林床ではヒメボタル(体長9mm・♀7mm・オスが大きい)を見ることがあります。

ホタルの一生は卵に始まり、幼虫が蛹を過ごし成虫になります。幼虫が水中生活のタイプは、日本のゲンジ・ヘイケボタルで、この珍しい習性は世界的にも有名です。ヒメボタルをはじめほとんどのホタルは陸生です。



ゲンジボタルの幼虫

息が急激に減っており、環境庁や県内版「レッドデータ調査」により、保護を必要とする「絶滅危惧種」に選定されています。メダカの学名(Oryzias latipes)がラテン語の「稲・Oryza」に由来し、稲作と深いかわりがあります。稲作地域の小川は水田と結ばれ、田植えが終わると小川のメダカは水田に移動します。そして、発生するミジンコを餌に成長増殖します。秋に水田から水が引かれると小川に戻って冬を越すわけです。

現在、小川や用水路はコンクリート張りとなり、流れも速く水草も生えずメダカが住みにくくなっています。その上、家庭排水など水質汚染も加わり、メダカを絶滅の危機に追いやっていくわけです。

メダカには地域性があり「小田原メダカ」は東日本型に属し、在来固有種です。遺伝子組成は「地メダカ」として純系が保たれ、学術的にも貴重で保存が望まれています。そのためにも、市内各地の小川や休耕田活用などメダカの住める良好な水辺空間の保全、創出が必要なのです。

「ホタル」

自然環境を指標する生き物

ホタルが生育する環境は、人間を始め多くの生き物の安定した優れた自然環境です。現在、

「コアシサシ」

小田原への夏の使者

コアシサシは北海道を除き、全国的に渡米、



コアシサシ



繁殖する夏鳥です。カモメ科に属し体型はツバメに似て、少し大きく(28cm)、体は灰白色、先の黒い黄色のくちばしと白い眉斑があります。キリッキリッと、鋭い鳴き声を出しながら飛行し、白い矢のようにダイビングしてウグイ・アユ・コアシ・ボラなどを捕らえ、その早業は見事です。

小田原では4月初旬飛来し8月下旬まで、酒匂川を中心に内陸水田や早川・片浦海岸でも見られます。子育てが終わって、9月に南方(オーストラリア方面)に渡って行きます。

営巣は酒匂川の中洲の砂礫地を中心に、集団営巣(コロニー)します。産卵数は普通3卵、大きく、色はウズラの卵に似て、20日間くらい抱卵されると孵化するようです。

酒匂川中洲でのコロニーは、かつては毎年数百羽が集合、日本でも最大級のものでした。しかし、河川改修などによる砂礫地の減少、特に行楽のアウトドア派のマナー欠如で、営巣ができなくなり減少しています。また、昨今の地球規模におよぶ環境異変は、コアシサシにもおよんで個体数の減少は小田原・日本だけでなく世界的傾向のようです。オーストラリアでは「絶滅危惧種」、環境庁では「希少種」、県内版「レッドデータ調査」では繁殖期「危惧種」に選定され、「営巣地の確保など対策が叫ばれています」。

小田原市は平成7年、市民の環境保全など意識高揚を図る目的で「市の鳥」として制定しています。そして「コアシサシの郷づくり」・「バードウォッチング」などの体験を通して、小田原の豊かな生き物と自然環境の保全を市民に呼びかけています。

Odawara Driving School

大型車実登校日は11日間で卒業可(学科なし)
けん引実登校日は7日間で卒業可(学科なし)
普通車も場内2時限、路上3時限乗れます。

教習科目

大型・けん引・普通・普通自動二輪

〈ローン制度あり〉

釜田駅より徒歩5分

スクールバスあり

駐車場あり



神奈川県公安委員会指定

小田原ドライビングスクール

蓮正寺540-2 TEL (36) 1215~7

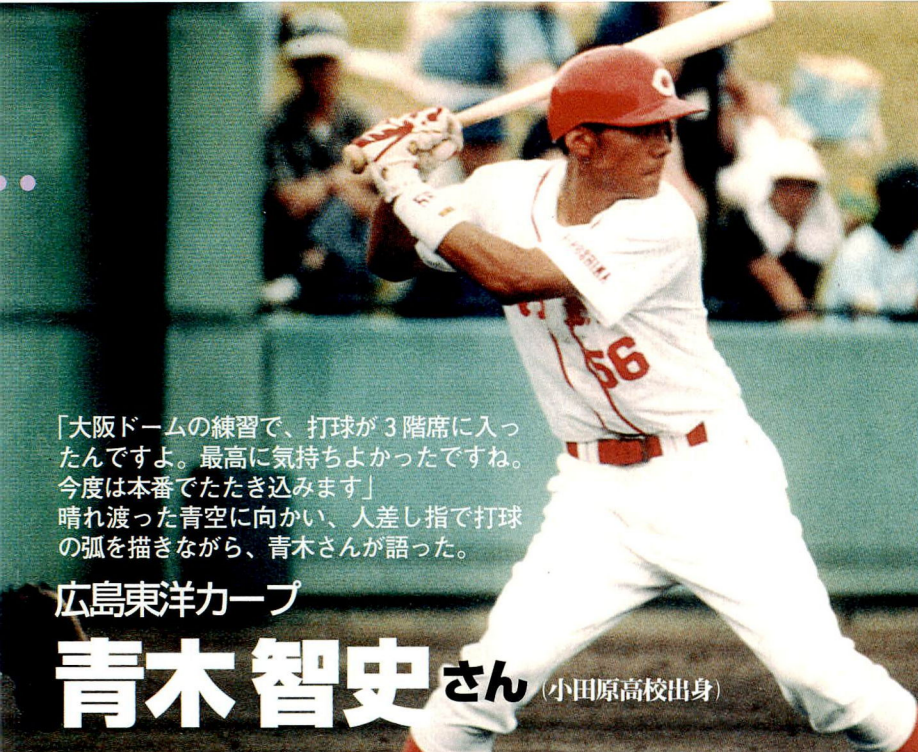
栄町松坂屋の小田の梅

やめられない
お菓子たち
Vol.7



肉厚、粒より地の梅「南高梅」をのし梅状にし求肥で巻いた手の込んだ菓子。小田原に数多い梅菓子の中でも同店の代表銘菓で、60年前から続く逸品だ。1個150円。9個入り1,500円〜。

栄町本店/栄町1の16の46
TEL 22・3020 第3水曜定休
アミーおだちか店もあり



「大阪ドームの練習で、打球が3階席に入っ
たんですよ。最高に気持ちよかったですね。
今度は本番でたたき込みます」
晴れ渡った青空に向かい、人差し指で打球
の弧を描きながら、青木さんが語った。

広島東洋カープ

青木 智史さん (小田原高校出身)

小田原高校を卒業し、大砲としてその
将来を嘱望されている若きスラッガー。
真っ黒に日焼けした大きな体に、少年っ
ぽさの残る甘いマスクは、今からスター
を予感させる。
野球では無名の小田原高校野球部で白
球を追い続けた3年間。甲子園にこそ行
けなかったものの、打者としての人並は
ずれた飛距離のうわさは、プロのスカウ
トの耳にまで届いていた。
高校のグラウンドには、打球が外に飛び
出さないようにするため、高いネットが張
られている。しかし、青木さんの打球はこ
れを高々と越えていった。いつしかネット
は「青木ネット」と呼ばれるようになった。
彼の卒業後、このネットを越えたアーチ
は一本もない。
そんな彼も、プロの世界ではまだまだ
これから。一軍を目指してしのぎを削る



ここに映っ
ているのはそ
れだけではな
い。高校時代、
苦楽をともに
した仲間から
の熱いメッセ
ージが画面を
通じて彼の心

私を支える 1本のビデオテープ

ファームの若手メンバーの一人。結果を
出せずに気持ちばかり焦って気が変にな
ることもある。
そんな時、彼を救ってくれるのは1本
のビデオテープ。高校時代のチームメイ
トやクラスメイトが、青木さんのドラフ
ト指名当日のテレビ番組を含めて作って
くれたものだ。
このビデオには、希望に向かって目を
輝かせている最高の自分がいる。しかし、



彩 小田原 時記 花開く 小田原の合唱

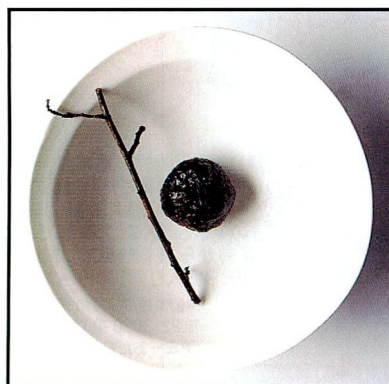
さきごろ広島市で行われた全日本合唱
コンクール全国大会に、関東代表として
出場した小田原少年少女合唱隊とマルベ
リー・クワイアがそろって金賞を受賞し
た。少年少女合唱隊は一般B(33人以上)
部門に小学生が参加するという半世紀の
歴史を持つこのコンクールでも初の快挙。
その上、金賞受賞というダブルの栄冠。

少年少女合唱隊の卒団者によるマルベ
リー・クワイアは全国大会の常連。3年
連続の一般A(12人以上32人以下)部門で
の金賞受賞となった。2つの団は、いわ
ば血統の良い姉妹関係にあたる。

「今年度のマルベリーは3年連続の金賞
がかかっていたけどプレッシャーはあり
ませんでした。神奈川・関東大会と昇り
調子。ステージでの第一声を聴いて『これ
はいいぞ!』と思いました」団員は結果発
表前から手応えはあったようだ。「団のカ
ラーは自由に、気負わず、楽しくです。控
え室でも、ひときわワイワイ騒いでいるの
が小田原の合唱団なんです」とコンクール
で両団の指揮をとった桑原妙子さん。少
年少女合唱隊は、来年、カナダのバンクー
バーで開かれるワールド・チルドレン
・フェスティバル・ソング・ブリッジ
にアジア代表として招待されている。



マルベリー・
クワイア(上)
と小田原少年
少女合唱隊
(右)



菜の花・和菓子 歳時記

2月 梅まき

小田原の代表銘菓であった甘露梅を、なんとか新しくよみがえるこ
とができないかと思っていたら、京都の宇治川べりの茶店『中村軒』
さんに教えてもらうことになって、梅まきをつくりました。つぶつ
ぶをころさずにお餅の良さを生かして、道明寺のしそまきです。も
ちろんあんは手取りこしあん。さっぱりと、しそが苦手な方たちも
楽しめます。

菜の花店主 高橋台一

和菓子・菜の花 小田原駅前お城通り ☎23-1567 OPEN 10:00AM~6:00PM



輝く小田原人



プロバスフィッシャー

いいそのさん (本町・本名 石井園美)

ときめいている 今の自分が好き!

に写ってくるのである。
「自分がプロ野球の世界で成功すれば、無名校で頑張っている高校生の励みになる。僕は後輩たちに道を開いてあげたいんです。そのためにも、途中で負けるわけにはいきません」と話してくれた青木さん。ビデオを見るたびに、こんな言葉が

自然と出てくるのだという。彼の野球人生の原点は、まさに高校生活の3年間にある。「お前はホームランを打って評価される選手。ヒットを打ったくらいで満足してはだめ。カープの大砲を目指せ」と達川監督にいわしめる未来の主砲は、今日も青空に向かってバットを振り続ける。

「釣りは一生続けていくだろうな。私にとってバスフィッシングは人生をかけるほど

素敵で刺激的な頭脳ゲームなんです。たえず宝探しをしているようにときめいている今の自分が好きです」つややかな髪をかきあげ、吸い込まれるように澄んだ瞳がくるつくると無邪気に輝く。なぜ、これほどまでに釣りに魅了されているのだろうか。

事していたんです」とクスクスと笑う。

現在は本業のバスプロをはじめ、テレビ・ビデオ出演や雑誌・新聞への執筆活動など超多忙。スポンサーも数社を抱える。

「小田原に生まれて小田原に育った私。人見知りしていた昔の私しか知らない先生や友達とはびっくりするかもしれません。でも私はもうこれ以上変わらない。それほどバスフィッシングとの出会いは衝撃的でした。いずれ結婚したら、子供を産んで、目指せママプロ。素敵でしょ」と笑う。

今年の彼女の目標は、アメリカをはじめ河口湖・八郎潟などを巡る計5戦13日の世界トーナメント。その日、表彰台の一番高いところで、ひときわはしゃぐキートな女性がいるだろう。それが「いいその」だ。



「バスフィッシングの魅力は、自然を読んで、バスの気持ちを読んで、自分のルアーに生命を吹き込んで、バスにとって魅力的な動きをつけること。でも勝つには、魚・自然・運のすべてを自分の味方につけさせなければいけないので、経験・テクニック・反省・ひらめき…考えて考えてそして答えを出すんです。それがプロと愛好者の違いですね」と。

今回の表紙



四季の移り変わりを演出する、木立に囲まれた辻村植物公園。ここを散策するとてもお似合いのカップル。あまりに仲が良く、素敵な笑顔だったので、思わずシャッターを切ってしまいました。これが今回の表紙です。
「この公園の風景がとても奇麗だから一度見に行くといいよ」と聞いて、さっそく横浜から足を運んできた小田原フアン二人。
いつまでも笑顔を絶やさず、健康な人生を送るために。そんな今号のテーマにぴったりの1枚でした。

小田原

彩時記

広報おだわらが
神奈川県広報コンクールで
最優秀にカムバック!

いつの世にも受け継がれる「おだわらのこころ」をテーマにした「広報おだわら」11月1日号が、平成11年神奈川県広報コンクール広報紙部門で、最優秀を受賞しました。今後は、県代表として全国広報コンクールで審査されることになります。

「広報おだわら」には毎号、みんなの心が一つになって、元気なまちをつくりたい、との願いが込められています。これからもみなさんに愛される情報誌を目指します。



心におみやげ、
見つけて小田原。



驚きと感動の梅林

溪流の梅林

～珍品見つけた～



桜鏡
梅の花の王様。梅の花では最大輪。
淡紅の八重咲き。2月中旬

黄門枝垂
幹が黄門様の杖のように曲がる。
淡紅一重咲き。2月下旬

この時期、同フラワーガーデン内のトロピカルドームでは、
バナナ・マンゴ・パパイヤなど南国くだものがどっさり。
ハイビスカス・ブーゲンビリアなど色鮮やか。

250品種300本の梅の変わり咲き種などの特別種を集めた
全国的にも珍しい溪流の梅林。驚きと感動の梅園だ。
それだけじゃない！
梅の香りに誘われて、展望デッキで見渡せば足柄平野を
一望できる大パノラマが
広がる。
さあ、ひとあし早く
小田原フラワーガーデンで
春を感じよう！



小田原フラワーガーデン

☎ 0465-34-2814

毎年2月は曾我の梅林・小田原城址公園で梅まつり。
辻村植物公園の梅もすてきです。